

株式会社 Noz（ノーズ） HOPPL 創業の事実

車の修理工場からはじまった小さな子供たちへのプレゼント

5 ケース教材の概要

2015 年、子供用の木製品を中心としたブランド HOPPL（ホップル）が立ち上がる。HOPPL の意味は、HOPE（希望）PIONEER（開拓）PLAY（遊ぶ）からなる造語から出来ている。その由来は、「子ども達の未来に希望を与えること」（希望）、「子ども達が自らすすんで考えること」（開拓）、「子供たちが楽しく遊べること」（遊ぶ）、にある。健やかな子供の成長に寄り添い、思い出をカタチにして残せるようなモノづくりを目指し続けている。

主力商品の「コロコロチェア&デスク」は、年間 1 万セットを上回る販売数を誇り、今やキッズ向けのデスクとしては国内上位のブランドとなる。そのほか多くのベビーキッズ向け木製品を中心に、百貨店、大手量販店、自社 EC サイトなどで販売を拡大している。

HOPPL ブランドは、株式会社 Noz（カブシキガイシャ ノーズ）が企画、製造、販売をワンストップで行っており、多くの商品を中国の自社工場にて製造している。創業当初の株式会社ノーズは兵庫県川西市に位置する車の修理工場であった。

なぜ車の修理工場が小さな子供たちに向けた商品開発に乗り出したのか？ヒット商品を生み出すまでにどのような経緯があったのか？本ケース教材は、その軌跡を追ったものである。

25

このケース教材は立命館大学大学院経営管理研究科（ビジネススクール）修士課程の金口裕美が、水野由香里教授の指導の下で作成した。RBS リサーチライブラリーに登録されたケース教材は、教育教材として作成されたものであり、特定の個人や企業等の経営判断を問うことを意図してはいない。ただし、本ケース教材の記述に関する一切の責任は筆者に帰すものとする。

RBS リサーチライブラリー 2023.